

「子育て両親学級」をスタートしました。また、転入してきた方からの相談を受け、市内の施設を紹介する、かみす子育て



か、市内の保育園にどういった特徴が

「あるとき、妊娠中の体調について夫が分かってくれないという相談がありました。それがきっかけとなり夫婦で参加する

世代のママ友ができたこと。子育ての悩みなど、いろいろ話しやすいし



「あるとき、妊娠中の体調について夫が分かってくれないという相談がありました。それがきっかけとなり夫婦で参加する

世代のママ友ができたこと。子育ての悩みなど、いろいろ話しやすいし

「あるとき、妊娠中の体調について夫が分かってくれないという相談がありました。それがきっかけとなり夫婦で参加する

世代のママ友ができたこと。子育ての悩みなど、いろいろ話しやすいし

「あるとき、妊娠中の体調について夫が分かってくれないという相談がありました。それがきっかけとなり夫婦で参加する

世代のママ友ができたこと。子育ての悩みなど、いろいろ話しやすいし

「あるとき、妊娠中の体調について夫が分かってくれないという相談がありました。それがきっかけとなり夫婦で参加する

世代のママ友ができたこと。子育ての悩みなど、いろいろ話しやすいし

「あるとき、妊娠中の体調について夫が分かってくれないという相談がありました。それがきっかけとなり夫婦で参加する

世代のママ友ができたこと。子育ての悩みなど、いろいろ話しやすいし

「あるとき、妊娠中の体調について夫が分かってくれないという相談がありました。それがきっかけとなり夫婦で参加する

世代のママ友ができたこと。子育ての悩みなど、いろいろ話しやすいし

「あるとき、妊娠中の体調について夫が分かってくれないという相談がありました。それがきっかけとなり夫婦で参加する

世代のママ友ができたこと。子育ての悩みなど、いろいろ話しやすいし

「あるとき、妊娠中の体調について夫が分かってくれないという相談がありました。それがきっかけとなり夫婦で参加する

世代のママ友ができたこと。子育ての悩みなど、いろいろ話しやすいし

「あるとき、妊娠中の体調について夫が分かってくれないという相談がありました。それがきっかけとなり夫婦で参加する

世代のママ友ができたこと。子育ての悩みなど、いろいろ話しやすいし

「あるとき、妊娠中の体調について夫が分かってくれないという相談がありました。それがきっかけとなり夫婦で参加する

世代のママ友ができたこと。子育ての悩みなど、いろいろ話しやすいし

「あるとき、妊娠中の体調について夫が分かってくれないという相談がありました。それがきっかけとなり夫婦で参加する

世代のママ友ができたこと。子育ての悩みなど、いろいろ話しやすいし

神栖市の子育て支援

妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目ない相談と支援を行なっています。今回は、その一部を紹介します。

妊娠

子育て応援ギフトカタログ

出産前後の保護者を対象に贈呈

妊産婦の医療費助成

市独自で、産科・婦人科以外の疾病も対象に医療費の一部を助成

マタニティセミナー

初めての出産、子育ての不安を解消するためのセミナーを開催



出産

1か月児一般健康診査費用助成

生後1か月の健診費用の一部を助成

産後ケア事業

出産後、親族などから家事や育児の援助が受けられない人は、医療機関などで、母の心身のケアや育児サポートを受けられる

分娩者手当金

子ども1人につき20,000円を支給

子育て

小児～高校生相当の医療費助成

入院や外来も対象に医療費の一部を助成

小・中学校の給食費の助成

給食費のほぼ半額を市が負担

子育て応援券

小学校就学前児童の保護者に、市内協賛店で使える30,000円分のギフト券を贈呈



子育てコンシェルジュが、一人ひとりに合わせた子育て支援をご案内



相談窓口の入口も親しみやすい雰囲気

神福の対象は妊婦さんや子どもだけではありません。重度心身障害者、戦傷病者も含まれます。また、68歳・69歳の方に助成しているのは県内では神栖市だけです。神福について、自己負担金の決まり、県外の医療機関で受診した場合の手続き、支給方法(現物支給か、一旦支払って後から助成分を受け取るか)など、詳しくは市のホームページでも確認できます。出産した方や神栖市に転入してきた方などは、なるべく早く申請を行ない、ぜひ活用してください。

支援につながる案内役 子育てコンシェルジュ

神福はほとんどの市民に浸透しています。その他にもとにかく神栖市の子育て支援制度は数多く、どんどん新しい制度も加わっているため、自分で調べるのは大変！ そんなときの案内役が、子育てコンシェルジュです。

市では、2019年に子育て世代包括支援センターを開設しました。ここで保健師と子育てコンシェルジュが、妊娠期から子育て期にわたって相談や支援を行なっています。

あるのかなど、その場で相談したこともありますよ」

岡山県出身の津川さん親子は、夫の転勤でお子さんが生後7カ月のときに引っ越してきたそうです。「来たばかりのときは不安もありましたが、実際に子育て支援制度を使ってみて、とても充実していると感じました。児童館や地域子育て支援センターを週3回は利用しており、子育てタウンアプリではイベント情報をチェックします。今は第2子を妊娠中なので、神福もありがたいですね。月2回の通院時には、ファミリーサポートセンターで、子育てサポートに上の子を預かってもらっています」

気軽に相談を！

今年4月3日には、波崎地域に子育て世代包括支援センターがオープン。身近なところに相談窓口が増え、子育て支援制度がより利用しやすくなります。子育てコンシェルジュにもますます会いやすくなりそうです。「子育ての悩みを一人で抱え込まず、どんな小さなことでもいいので気軽に私たちに相談してください」と話す柚木さんと早見さん。ただ制

育児を応援する 行政サービスガイド

※通信料がかかります

子育てタウンアプリ



APP Store



Google Play

ママフレWEB



度を整備するだけでなく、一人ひとりの心に寄り添った支援をするために、子育てコンシェルジュが皆さんからの相談をお待ちしています。

妊娠期から子育て期まで 寄り添い続ける

子育て世代包括支援センターの主な仕事を紹介します。まず、妊娠届